



エミールだより

1月

エミール保育園
園長 江口 浩三郎

「いじめの芽を出さないように」

明けましておめでとうございます。

ご家族おそろいで、新鮮な気持ちで新しい年を迎えられたことでしょう。

私も75歳になり、心を動かされることも少なくなりましたが、それでもただただ感動するのは子どもたちの成長ぶりです。何とも頼りない0歳の赤ちゃんが、どうして6歳のあんな立派な人間になるのでしょうか。

今年もまた皆さんといっしょに、この感動の波にただよいながら幸せな時を過ごしていきます。

ところで先日主任の江口から、私にひとつの報告がありました。それは、園内で子どもたちの口から友だちに向かって、「ふざけんな」「ぶっころす」「死ね」という言葉が発せられているということでした。幼い子どもたちの間ですから、多少の悪ふざけ的なことばは仕方ないとしても、ここまできたらやはり行き過ぎです。そこで3歳以上児の集まりをし、問いただしたうえで注意することにしました。そして先にあげたことばの他に言われたことがあるのは「いっしょに遊ばん」「かたらんで」「先生に言うよ」「絶対に許さん」「ここに来んで」等々です。これだけのいろいろなことばが質問に応じて返ってくる場所をみると、繰り返しひんぱんに発せられていると感じられます。また言われた本人がよく覚えていることは、心の痛みのあらわれです。深い考えがなく言ったことでも、それぞれのことばは非常に悪質です。刃物で傷つけられるくらいに心に刺さります。いじめの出発点と言ってもいいでしょう。ただひとつ救いだったのは、集会での子どもたちの態度が非常に真剣だったということです。これからはクラスや集会で何度も注意していきたいと考えています。

それからもうひとつ気になったのは、家庭でも「ぶっ殺す」や「死ね」ということばを聞いたということです。もし本当だとしたら、これはことばによる虐待の始まりです。子どもはまだ幼く、冗談も通じませんし反論することもできません。しかし心に深い傷がつき、黒い影となって残りつづけていきます。

ところで、子どもの毎日があんなに明るく元気そうなのは何故でしょう。それは、自分の中に持っているさまざまな良い特質を、表に出そうと一生懸命になっているからです。

そんな子どもたちの自尊心を失わせ、自己否定感を味あわせることは、ある種の犯罪です。園でも充分に心していきますので、ご家庭でのご協力もよろしくお願いいたします。

(園長より)

今年度最後の保育参観を下記のとおり行います。子どもたちのおしごとに取り組む姿をご覧ください。参観後相良敦子先生による講演会が行われます。その後給食試食会を行いますぜひご参加いただき、子どもたちの成長した姿をご覧ください。

日時：1月28日(土) 9:00~12:30

内容：9:00~10:00 参観 (各クラスにて)

10:10~11:40 「相良敦子先生」講演会 (2階ホールにて)

11:50~12:30 給食試食会 (各クラスにて)

*詳しいご案内と申込書は後日配布します。



1月の行事予定

1	日	元旦
2	月	振替休日
3	火	休園
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	成人の日
10	火	いのちのたび博物館(5歳児)
11	水	
12	木	ふわふわルーム ヘアレッスン
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	卒園記念写真撮影(5歳誕生会)
24	火	
25	水	
26	木	避難消火訓練
27	金	
28	土	保育参観
29	日	
30	月	
31	火	

体育教室 5歳児 月曜日

16日・23日・30日

絵画指導 5歳児

19日 木曜日